

キャラクター名 一方通行	プレイヤー名
-----------------	--------

シンドローム	バロール	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	バロール		年齢	16	性別
オプション					
覚醒	探求	衝動	破壊	初期侵食率	34 %
出自	孤児	経験	1万人弱の犠牲	邂逅	打ち止め(ラストオーダー)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	61
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
【セットアップ】		0				
スクラップの時間だけ!		0				解放の宴(2) 侵食6
【マイナー】		0				
起きる仕事だ		0				オリジン:レジェンド(1) シーン間 侵食2

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UGN戦闘服II(チョーカー)		15	-	-	エフェクトを組み合わせた判定ダイス+2個

所持品	
エンブレム: UGN戦闘服II	
杖	

合計装甲:	15	合計回避:	0
-------	----	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
奇妙な隣人-ストレンジナイパー	P	N		
打ち止め"ラストオーダー"	P	慕情	N	不安
守るべき者たち	P	信頼	N	悔悟
認めた者たち	P	連帯感	N	嫉妬
狐崎 焰	P	感服	N	隔意
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P:	
--------	---	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:バロール	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: クリティカル値-LV(下限値7)								
グラビティテリトリー	5		常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最大HP[LV×7] 基本侵食値+4								
紡ぎの魔眼	3	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 判定ダイス+LV個 1ラウンド1回								
インビジブルハンド	1	4	メジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果: 攻撃力+LV 1点でもダメージを与えた場合対象の飛行状態を解除 1ラウンド1回								
暗黒の槍	5	3	メジャー	-	-	対決	-	
効果: 装甲無視 5点HP消費 1シナリオLV回								
終末の槍	5	5	メジャー	-	-	対決	リミット	
効果: ダメージ+(LV)Dする 4点HPを失う								
孤独の魔眼	2	4	オート	視界	参照	自動	-	
効果: 自分を含む対象範囲、範囲(選択)を対象単体にし自身一人で受ける 1シナリオLV回								
暗黒螺旋	6	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 白兵攻撃に対してガードした際攻撃してきたキャラクターに[LV×5]点のHPダメージを与える 1ラウンド1回								
グラビティガード	6	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード値+(LV)D								
斥力障壁	1	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象が受ける(予定の)ダメージを-[1D+LV×3] 1ラウンド1回								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 相手の判定を失敗させる 1シナリオ1回								
解放の宴	1	6	セット	至近	自身	自動	100%	
効果: ラウンド間判定ダイス+5 飛行状態になる 1シナリオLV回								
崩壊のスフィア	1							
効果:								

コンセプト  
過去に大きな過ちを犯し、その罪に苦悩しながらも正しい道を進もうとする者

名前はアクセラレータだ、本名?そんなもんでもいいだろう  
物心ついた時からFHで実験されてきた、まあ周りも俺と同じ孤児が集まっていたが、俺らはいつらにとってより強いオーヴァードを生み出すためだけの存在だったみてえだ  
だがそんな中、俺にはオーヴァードとしての才能があったらしい、奴らが求める強いオーヴァードなのに覚醒した  
俺自身最初は力ついてもに憧れただけで俺が欲しかったのはこんな破壊の力じゃなかった……  
もうこんな力を持った俺を他の孤児たちは恐怖し俺の居場所は無くなった、しかし中にはそんな俺を気に入らない連中もいた、まあ夜道で襲われようが寝込みを襲われようが能力のおかげですべて返り討ちだったかな。  
そんな生活を続けて数年がたったころ、くそつたれな研究者がまた俺に近づいてきた、適当にあしらおうと思ったが今思えばなんでもあんな話に乗っちゃったんだか、この力の先、絶対的な力の取得、俺はそれにのっかった、その結果1万人以上の実験用RB妹達(シスターズ)の死体を築いちまった。  
あと少しで実験が終わるところで奴が現れた、俺の人生を大きく変えた……いや助けられたのかな。  
まあいい、そのあと俺はFHを抜けることを決意した、こんな連中にこれ以上関わるのはごめんだっからな、だが奴らはそれを許さなかった  
実験で生み出した残りの妹達(シスターズ)、そして打ち止め(ラストオーダー)を処分すると言ってきた  
俺は見捨てられなかった、今更奪ってきた立場のくせに守るなんておこがましかったがそれでも感情を抑えられなかった  
全ての妹達(シスターズ)と打ち止め(ラストオーダー)をUGN側に保護してもらえたが最後の最後に油断した。  
俺は脳にダメージを負い言語能力と計算能力を失った、しかしUGNの変わり者のおかげで妹達(シスターズ)の脳波ネットワークと俺の脳をつなぐチョーカーを作り  
脳の代理演算を行う装置を作り俺はなんとか元の生活を送ることができるようになった  
限定的ではあるがオーヴァードの力も使えるようにはなった、そのとき俺は誓った許されなくたっていい、何があるとも彼女たちを守ると決意した

